

## 三次市教育委員会会議録

1. 日 時 平成27年8月17日(月)  
開会 午前 9時00分  
閉会 午後 5時30分
2. 会 場 三次市役所本館 6階 603会議室
3. 出席委員 教 育 長 松 村 智 由  
委 員 沖 田 稔  
委 員 小 根 森 直 子  
委 員 藤 原 博 巳  
委 員 土 井 純 子
4. 出席職員 教 育 次 長 中 宗 久 之  
教育委員会事務局付課長 出 口 康 子
5. 参考人 三次市教科用図書採択地区選定委員会

教育委員会事務局付課長 ただいまから教育委員会会議を開会する。教育長の挨拶をお願いします。

松村教育長 —挨拶—

教育委員会事務局付課長 議案第27号の審議に入る前に、三次市教科用図書採択地区選定委員会の委員長から、平成28年度三次市教科用図書採択地区の教科用図書の採択に係る意見についての答申書を松村教育長に手交していただく。

<選定委員長から松村教育長に手交>

教育委員会事務局付課長 教育長に進行をお願いします。

松村教育長 それでは、これから議事に移るが、本日の議題のうち、議案第27号については教科書採択に係る案件のため、公開になじまないものと判断する。については同会議規則第16条第1項により非公開にしたいと思うので皆さんにお諮りする。異議はないか。

委員一同 —異議なし—

- 松村教育長 それでは、議案第27号および協議については非公開とする。
- 松村教育長 それでは、議案第27号平成28年度使用三次市教科用図書採択地区教科書の採択についての説明を求める。
- 選定委員長 ー経過説明ー
- 松村教育長 選定委員長から答申説明をお願いします。
- 選定委員長 県の選定資料をご覧いただきたい。1ページにある5点の観点「基礎・基本の定着」「主体的に学習に取り組む工夫」「内容の構成・配列・分量」「内容の表現・表記」「言語活動の充実」で調査研究されたものを選定委員会で協議し、結果を答申させていただいている。答申については、各教科書について、より特徴的である内容について記述している。今回の選定においては、2つの点を重視して審議を進めた。1点目は、三次市の生徒の実態・課題に応じた教科書はどれであるかということ。2点目は、県の「学びの変革」アクション・プランを受けて、特に、観点2の「主体的に学習に取り組む工夫」がなされているかということ。この2点を大前提にして審議を進めた。
- 松村教育長 各教科について、採択を行っていく。それでは保健体育から行う。
- 保健体育
- 選定委員長 ー答申説明ー
- 松村教育長 比較する視点として、使いやすさ、理解のしやすさ、読みやすさなどが考えられる。
- 小根森委員 食育については各社どのように掲載されているか。
- 選定委員長 各社とも同様の扱いである。
- 沖田委員 食事は毎日の基本となる。三次市の子どもの課題はどうか。
- 選定委員 食事についてはほとんどの子どもが摂っている。しかし、朝食などでは菓子パンで済ませるなど食事の内容については課題が見られる。また、生活習慣では、就寝時刻、テレビ・ゲームの時間に課題がある。
- 沖田委員 生活習慣が主要な課題ということになるだろうが、生活習慣についてはどのような扱いがなされているか。
- 選定委員 生活リズムを主に考えていくものが多いが、全ての会社にある。
- 小根森委員 AEDの実習は、学校ではできるのか。

- 選定委員長 学校では、消防署の方に来てもらうなどして実施している。
- 選定委員 選定委員会では、自転車の乗り方等の掲載についても話題となった。自転車安全利用五則が中学生も対象となることなどから話になった。
- 小根森委員 各社、どのような扱いか。
- 選定委員 自転車安全利用五則として明記しているのは3社である。しかし、自転車の安全な乗り方等については、掲載量はまちまちだが各社扱っている。
- 沖田委員 現在、使用しているB社について、先生方から何か意見があるか。
- 選定委員 継続して用いたい、扱いやすいという声が多い。しかし、選定委員会では、学習のまとめがキーワードの掲載のみで、ないというのがどうかという話もなされた。
- 小根森委員 N社とA社は、まとめがしっかりしている。指導者はテストを作成しやすいのではないか。
- 沖田委員 確かにテストを作成しやすいだろう。しかし、中学校は教科担任制でもあり、問題を自作する力がなければならない。
- 松村教育長 年度の初めに学期末のテストを作成し、見直しをもって指導を行っているはずである。
- 藤原委員 B社は、すっきりとして分かりやすい。
- 沖田委員 情報機器・パソコンと身体への影響についての扱いが学習指導要領にあるが、それぞれどのような扱いとなっているか。
- 選定委員長 B社は、悪影響ということについて睡眠と健康の場面で扱っている。N社は、健康の場面で依存チェックなど扱っている。A社は、健康に関わってパソコン依存の掲載がある。J社は、健康と睡眠に関わって子どもに考えさせている。
- 松村教育長 いろいろな観点からみていったが、B社について、使いやすい、分かりやすいという意見が多かった。保健体育については、B社でよろしいか。
- 委員一同 ー承認ー

## 国語

- 選定委員 ー答申説明ー
- 沖田委員 古典で本格的な学習に入っていくのは2年生からである。古典の導入部分について各社比較してみた。
- 松村教育長 確かに各社いろいろな導入の仕方である。

- 沖田委員 序段は暗唱させるというのが通例である。そのことを考えると、読みやすく覚えやすいのがよい。H社は平家物語の序段だけを行書体で書き、読みを書き、説明がある。書きぶりをこのようにしてあるのは意味がある。
- 小根森委員 三次市の子どもたちの課題は何か。
- 選定委員 各種学力調査では、概ね定着が図られている。しかし、活用する力には課題がある。
- 教育委員会事務局付課長 情報を活用する力、必要な情報を選択する力に課題がある。
- 松村教育長 グラフを読み取る力が必要である。
- 沖田委員 H社は写真、図表、グラフなど数多く取り入れた教材がある。また新聞記事も載せて比較しているが、他社は新聞の取り扱いが少ないように思うが、どうか。学力調査等でも、新聞を読んでいる子とそうでない子とは結果に差が出ている。
- 藤原委員 情報メディアの扱いについても、記事を書くもの、社説を扱っているものなどいろいろある。
- 選定委員 メディア活用に関わる内容は各社扱っているが、新聞記事の扱いには差がある。H社とE社は比較的しっかり掲載している。
- 松村教育長 教科書に4コマ漫画を扱っているものがあつたが、社会科でも四コマ漫画を使った社会科授業の展開がある。グラフの読み取りなど、理科もあるが社会科でもある。内容的なところでいえば、国語科としての指導の内容とそれと関連して他教科等との指導がある。国語科では基本的なところをしっかりと押さえていく必要がある。
- 松村教育長 読み仮名の付け方にも各社違いがある。単元の目標が分かりやすいのはどこか。
- 選定委員 H社とA社が分かりやすい。
- 沖田委員 色使いにも各社工夫がある。
- 松村教育長 ユニバーサルデザインの視点がある。一部、目に優しくない色使いの教科書もある。
- 小根森委員 読書についての扱いはどうか。
- 選定委員 各社、巻末資料等でしっかり扱っている。単元間では、図書の紹介に終わっている会社もある。
- 沖田委員 H社は、感想文について扱っている。
- 松村教育長 家庭で感想文を書く際、参考になる。自学で扱うことができる。

松村教育長 H社について、よいという意見が多くあったが、国語についてはH社でよろしいか。

委員一同 ー承認ー

## 書写

選定委員 ー答申説明ー

小根森委員 手本が実物大というのは大変良い。

沖田委員 筆使いについては、各社、朱で示されていて分かりやすい。

小根森委員 D社は1時間の授業の流れが分かりやすい。

選定委員 選定委員会の中では、国語の教科書と書写の教科書が同じであるとよいという意見も出ていた。その理由としては、教科書で学んだ教材を書写で取り扱うことで興味関心が高まるとともに深まるのではないかということであった。しかし、同じ教材はごく一部であり、調査員の意見を聞いた際には、同じである必要はないということであった。

小根森委員 硬筆の扱いはどうか。

選定委員 あまり差は無い。毛筆の学習が主となっていて、毛筆の学習の流れの中で硬筆を関連させて学ぶという形になっている。

松村教育長 実生活において使いやすいかどうかという点で少し違いがある。

小根森委員 手紙の書き方については、どうか。

沖田委員 封書の書けない人が多い。

選定委員 今、子どもたちはなかなか手紙など書くという機会がない。そんな中、各社、取り扱っている。はがき、のし袋、願書、電子メール、宅急便の送り状など、いろいろな書き方を扱っている。

藤原委員 各社、いろいろと掲載している。

松村教育長 A社では、のしの写真はあるが、実際に字を書いている手本がない。確かめることができないのが残念である。

沖田委員 各社扱っているが、手紙の書き方についての掲載は必要なことである。

松村教育長 書写の手本の使いやすさなど、使いやすさではD社という意見が多くあった。書写は、D社でよろしいか。

委員一同 ー承認ー

## 数学

選定委員長 ー答申説明ー

松村教育長 高等学校の数学では、数学Ⅰ、Ⅱというようになっている。レベルを3段階で作っているらしい。

沖田委員 L社はよいと思うが、ややレベルが高い。また、三次市の生徒の実態として立体が弱いので、その部分を比較してみるとよい。

松村教育長 すっきりとしていて、分かりやすいのがよい。立体がよく分かる。

沖田委員 K社とA社はよく似ている。

小根森委員 確率はどうか。K社は別冊に掲載されている。

選定委員 どの会社も解き方については、樹形図や表など最低でも2つのパターンを掲載している。

小根森委員 「数学の世界」のような発展的な問題についてはどうか。

選定委員長 問題数に違いはあるが、どの会社も掲載している。巻末に掲載している会社もあれば、問題と合わせて教科の繋がりを示している会社もある。

沖田委員 一次関数は入門であり大切。一次関数でも比較してみよう。

選定委員 関数は、本市の課題部分である。

小根森委員 今までK社を使用していたのか。

選定委員長 現在、使用している教科書はA社。その前はK社である。

沖田委員 一次関数の扱いについて各社比較してみると、比例のグラフに特徴が表れている。どこも増加と減少を矢印と向きで表している。L社は、一番すっきりしている。増加を赤で、減少を青で示している。

小根森委員 他社は青のみで示している。色分けをしているのは増加と減少が分かりやすい。

沖田委員 気になったのは、立体の表面積と体積の求め方である。球の表面積・体積について、表面積の公式を編み出す時の考え方に各社違いがあり、それぞれを比べて見たら、面白い。

藤原委員 導き方に違いがある。

沖田委員 教師は各教科書を熟知し、必要に応じて他の教科書の内容を生かすこともあってよい。

松村教育長 いいのはどの導き出し方か。

小根森委員 D社だろうか。

沖田委員 半径の倍になっているという考え方も2社ある。いろいろある。

小根森委員 A社で、学び合いがあると説明があつたが、他社ではどうか。

- 選定委員長 どの会社も考えさせる場面を、意識して設定している。
- 小根森委員 小学校で使用している教科書会社はどこか。
- 選定委員 A社である。現在は、中学校でもA社を用いているので、どちらもA社ということになる。
- 沖田委員 一次方程式の導入においては、線分図で入った方がいいのか。
- 選定委員長 方程式の単元では、天秤で表している会社、表や線分図で表している会社などがある。数量関係でいうと、小学校の時、線分図を用いて数量関係を意識させている。小学校でのつながりを見たときに、線分図での考え方は大切である。数量関係は、式で表せて図でも表せないといけない。尚且つ、言葉の式で表せないといけない。
- 沖田委員 小学校で身に付いていないと難しい。
- 土井委員 今、小学校では鍛えている部分である。
- 選定委員 低学年から数量関係については線分図で表し、「1をもとに考える」という指導を徹底して行っている。
- 土井委員 算数から数学への流れはスムーズか。
- 選定委員長 教科書会社が同じであれば意識して作られている。学習の進め方やノートづくりは、非常に分かりやすく書かれている。小学校の指導が中学校に繋がっていかなければならない。数量関係や空間図形など系統的に指導していく必要がある。導入場面では特に工夫が必要である。
- 松村教育長 導入を工夫することで、関心をもって学習を行うことができる。本市においては、数学・算数において課題も見られるため、特化していく必要がある。
- 沖田委員 いろいろな教科書を比べて見なければならない指導者の教科書研究が大切である。
- 松村教育長 他社も参考にしながら、上手に使用していくことが大切だと考える。数学については、A社でよろしいか。
- 委員一同 ー承認ー

## 社会（地理的分野）

- 選定委員 ー答申説明ー
- 沖田委員 A社は、地域ごとに同じ流し方か。
- 選定委員 世界の各州については学習テーマを、日本の諸地域については研究テーマを設定して、問題解決的な学習を展開するという同じ流し方になっている。違

うテーマを設定した場合は、「深める」場面も設定されている。

沖田委員 I社の様々な技能を磨くとは、どのようなことか。

選定委員 他社にも、読み取りの技能については掲載されているが、詳しく分かりやすく掲載されているのはI社である。人口ピラミッドについては、I社のみ説明がある。

沖田委員 中国地方で比較してみると、扱う資料の新旧に若干差が出ている。中国やまなみ街道が出ているかどうか、そして三次が出ているかなど。I社は掲載していた。しかし、過疎化についてはあまり扱っていない。F社は過疎をしっかりと取り上げているが、やや課題から逃げている感がある。

松村教育長 一長一短がある。どちらが分かりやすいかという面で見えていくことが大切。

沖田委員 TPPや中央アジアについての扱いを見てみよう。

選定委員 TPPについてはM社には掲載されている。

沖田委員 A社、I社は全く扱っていない。

教育委員会事務局付課長 TPPについては、公民的分野の教科書に掲載されている。A社やI社も公民的分野では掲載されている。

沖田委員 領土問題については、どのように掲載されているか。

選定委員 学習指導要領に則り、全社掲載されている。内容的に、違いは見られない。

松村教育長 学習の流し方がよいという点が大きかったと思うが、地理的分野はA社を採択するということによろしいか。

委員一同 一承認一

松村教育長 午前中の審議を終える。午後は、12:40から公民的分野から審議を行う。

(12:00終了)

松村教育長 午後の審議を再開する。公民的分野から行う。(12:40開始)

社会(公民的分野)

選定委員 一答申説明一

小根森委員 模擬選挙、グループ協議などは、A社だけの掲載か。

選定委員 他社もこのような活動は取り入れている。しかし、社会参画につなげるように常に意識されているのはA社である。M社は資料の掲載数が多い。コラムでは、日本の素晴らしさが掲載されている。O社はディベートが特徴的である。

小根森委員 ディベートはO社だけの掲載か。



選定委員 他社にも掲載されている。ページを割いて掲載されているという点で〇社は特徴的である。

小根森委員 計画という点ではどうか。

選定委員 おもしろい設定をして、生徒に考えさせるよう仕組んでいる教科書がある。生徒が「パン屋の経営者になる」という設定になっており、単元を通して問題解決的な学習を進めるという形になっている。

小根森委員 選挙についての扱いはどうなっているのか。

選定委員 選挙権についてはどの会社も扱っているが、選挙権が18歳に引き下げられたことについては2社だけが反映している。しかし、このことについては、供給本については反映されるところである。

小根森委員 A社の自主的に考えさせるという点についてはすごくいいと思う。実際に高校の入試になった時に、身に付けておかないといけない基本事項は押えることができるか。高校入試を考えたとき時間があるのか。

選定委員 基本事項は押えられている。基本的な事項を用いてディベートしていくといった流れになっている。

小根森委員 つくのならいいのだが、どっちが主になっていくのか。実際に高校入試を前にした時、そういうことも考えていくべきである。

選定委員 社会に参画するという視点・力が重視されている。

小根森委員 考える力は、実際ついていくのであろう。これからは、このような力が求められる。

藤原委員 まとめは、どのようになっているのか。

選定委員 まとめのページでは、①学習した用語の確認をする、②それを用いて問題を解く、③用語等を用いながら自分の考えを説明する、といった形になっている。各社、似たような形であり、キーワードについて押える形をとっている。

沖田委員 原発などA社がとても詳しい。一方、〇社の人口太陽（核融合発電）というのはどんなのか。

松村教育長 太陽自体は核である。

松村教育長 夢のような話ではある。

沖田委員 憲法について巻末にあるが、全部、学習をするのか。

選定委員長 そこまでは、詳しく学習はしない。

松村教育長 A社が全体的に充実している。公正公平の視点が一貫している。

藤原委員 その通りである。

沖田委員 集団的自衛権についても、各社掲載されていた。

小根森委員 集団的自衛権については、それぞれどうか。

沖田委員 O社は賛成的考えである。事実だけでなく、考えも書いている。テキストとしては淡々と事実のみがよい。

松村教育長 そうでないといけない。事実で説明する。淡々と事実で書かないといけない。

松村教育長 公民的分野について、A社がよいという意見が多くあったが、A社でよろしいか。

委員一同 ー承認ー

#### 技術・家庭（技術分野）

選定委員 ー答申説明ー

沖田委員 Dマークについて、インストールが必要か。

選定委員 しなくても大丈夫である。実験を動画で見ることができたり、作品を立体的に見たりすることができる。

沖田委員 いわゆる段取りについての学習をするのは、唯一技術だけ。A社は、その流れが見えやすい。

選定委員 3社を比べて見ると、どの示し方が、段取りが分かりやすいかが分かる。

小根森委員 確かにA社は分かりやすい。

選定委員 最初のページをみただけで、活動の見通しが持てる。これは、A社のみである。教科書の幅が広いので、そこを上手く使っている。

松村教育長 学校に持っていくのに、この教科書の大きさはどうか。

選定委員 鞆には入る。高さは同じである。

沖田委員 最近では、この判の教科書が増えてきた。

小根森委員 映像があるのは画期的である。

松村教育長 興味を持ちながら理解もできる。技術分野は、A社でよろしいか。

委員一同 ー承認ー

#### 技術・家庭（家庭分野）

選定委員 ー答申説明ー

松村教育長 調理についてはどうか。同じ料理の調理法で比べて見ると分かりやすい。

選定委員 調理の手順が1から6として統一して横の流れで示してあり、大変分かりやすい。このスタイルを貫いている。

- 松村教育長 写真でいったらA社である。分かりやすい。よく見せる工夫もある。野菜を  
実物大で示すというのもいい。
- 小根森委員 何をどれだけ摂ればよいか分かりやすい。
- 土井委員 分かりやすい。すっきりしている。
- 沖田委員 小学校では玉結びの手順が写真で大きく掲載されていて分かりやすかったが。
- 松村教育長 中学校の教科書にも掲載されているが、写真の撮り方などで分かりやすさが  
変わる。
- 藤原委員 Dマークは、現在、見るできないが、見るようになるか。
- 選定委員 供給本は見るようになる。
- 松村教育長 まち針の打ち方どうか。
- 選定委員 まち針の打ち方については小学校で学習する内容であるが、掲載されている。
- 沖田委員 掲載の仕方もA社は写真であったり、P社は絵であったりする。
- 松村教育長 絵や写真で示してあるのは大切。家庭に戻って実践する時に見る。打つ順番  
も大切である。
- 松村教育長 手順や写真が分かりやすいのはA社という意見が多かった。家庭分野はA社  
でよろしいか。
- 委員一同 ー承認ー

## 美術

- 選定委員 ー答申説明ー
- 沖田委員 色の仕組みなどの基礎的なことはどのように掲載されているか。
- 選定委員 3社とも同様な掲載をしている。教科書の後ろに掲載されている。
- 松村教育長 M社は3冊になっている。2・3年が2冊に分かれている。
- 教育委員会事務局付課長 学習指導要領のつくりが、1年と2・3年となっている。
- 土井委員 1年生には生徒作品がある。生徒作品については、各社どうか。
- 選定委員 C社の特徴は、生徒が作品をどういう思いで作ったかについて掲載されてい  
る。他社はない。言語活動の充実という視点で説明にこだわっているのはC  
社である。
- 沖田委員 グループで協同して作品をつくり上げる活動は日常の授業で多いのか。
- 選定委員 個人作品の方が多いが、協同作品もある。
- 松村教育長 表紙も工夫されている。注目されている作品の写真を掲載している。
- 小根森委員 年表は全社あるのか。

選定委員 3社とも、2・3年に掲載されている。  
小根森委員 H社の年表は、分かりやすい。掲載されている美術作品も多い。  
藤原委員 そうですね。違いがある。  
松村教育長 C社の年表は簡易である。美術作品もアップが多く、全体像が分からない。  
沖田委員 ジャンルが広い。  
松村教育長 見せ方が大切。  
小根森委員 年表はH社がいい。生徒作品ではC社である。  
松村教育長 年表についてはH社がよかったが、あとはC社という意見が多かった。美術はC社でよろしいか。  
委員一同 一承認一

## 社会（歴史的分野）

選定委員 一答申説明一  
沖田委員 各單元ごとの年表はA社だけか。巻末年表と同じ内容か。  
選定委員 小学校の内容・前單元での既習内容を入れた年表を、巻末年表と別に掲載しているのはA社のみである。巻末年表は各社ある。  
沖田委員 指導要領にある図書館・文書館の利・活用についてはどうか。  
松村教育長 文書館は、この辺りにはないが広島市にある。  
選定委員 図書館での調べ学習の仕方などが詳しく掲載されている。  
沖田委員 地域の歴史など調べることができる。社会だけでなく、総合の学習ですというのものもある。  
選定委員 次期の学習指導要領では、歴史の学び方について取り上げられている。歴史の学び方を重視しているのはよい。  
土井委員 これだけの文章を読み取って学習するというのは、大変な子もいる。  
選定委員 調べ方・学び方をしっかりと定着させておき、学習を進めることが重要である。  
沖田委員 多くの学校において別に資料を買うのか。使い切れるのか。  
選定委員 ほとんどの学校が購入している。資料の読み取りで使用される先生が多い。  
沖田委員 3分野を同じ会社にする必要はあるか。  
選定委員 同じ必要はないが、同じ会社にすると関連した学習ができる。関連マークがあり、対応したグラフなど掲載されている。  
沖田委員 県全体での状況はどうか。

選定委員 A社が多い。

沖田委員 教科書をどう使うかが問題である。

選定委員 単元・本時の流し方について、しっかり研究して授業を行う必要がある。

松村教育長 家庭学習にもつながる。

沖田委員 第2次世界大戦のO社の書きぶりはどうか。第2次世界大戦が民族の独立を助けたとある。肯定的な考え方である。日本のおかげでアジア諸国は独立できた、このような見方をしている人もいる。そして、このような記述がされているということについても教員は知っておかなければならない。

松村教育長 正しい歴史認識を教えないといけない。歴史の中味については、どこまでをどう教えていかなければならないのか、指導者がきちんと持つておかないと難しい状況になる。

松村教育長 歴史的分野について、全体的なところで見るときには、整理されていることなどが顕著であるといった意見が多かったということで、A社でよろしいか。

委員一同 ー承認ー

## 理科

選定委員 ー答申説明ー

松村教育長 K社のマイノートの話があったが、マイノートの使用についてはどうか。

選定委員 生徒には難しい、教師の指導力を上げる必要があるということは、調査員からも意見として聞き、選定委員会でも話題になった。しかし、このくらいの問題を解ける力は付けてから高校に進学しなければならないという話にもなった。

小根森委員 K社以外の会社には、マイノートがないにしても、ワークはあるか。

選定委員 ワークはある。

小根森委員 三次市の課題は何か。

選定委員 全体的によくない。どの分野も課題である。関心意欲も低い。そういう意味では、導入に工夫が見られる教科書がよい。

沖田委員 三次市が行っている学力調査の問題は、毎年、変わるのか。

選定委員 毎年、全問題の内容は変わる。

小根森委員 各社、単元の並びが違うことは、問題ないか。

選定委員 学力調査については選択式であるため、問題ない。

沖田委員 教科書通りの並びでいったら、冬に植物について学習するといったことも出

てきてしまう。並びは変更して行われている。

沖田委員 化学式の計算式が掲載されているが、B社の説明は分かりにくい。

小根森委員 A社は分かりやすい。

沖田委員 環境についてはK社が厚い。また、光を扱う学習で比較をしてみると、K社は分かりやすい。

藤原委員 物理はどうか。

選定委員長 物理の内容に入る前の課題として、分数や小数の計算ができない生徒がいるという現実がある。

小根森委員 理科が苦手な生徒が見て、分かりやすいかどうかが重要である。

沖田委員 写真はA社が分かりやすい。導入でいうと、D社、F社もよかった。

松村教育長 教科書はよくできている。課題は、指導である。

小根森委員 小学校から中学校へつなげる意識で指導していくことが、学力向上につながる。

松村委員長 理科については、K社でよろしいか。

委員一同 ー承認ー

## 音楽（一般）

選定委員長 ー答申説明ー

沖田委員 手順に沿って学習が進められているというのは、具体的にはどういうことか。

選定委員長 活動について1，2，3とステップが分かりやすく書かれている。

選定委員 他にもワークシートに沿って、ステップを踏みながら学習を進められるような箇所が設けてある。言葉の抑揚に合わせて線を引くといったものもある。

沖田委員 音楽学習マップは系統が分かる。F社にはないのか。

選定委員 F社は目次をカテゴリー別に分けて示しているが、音楽学習マップのような系統性を示したものはない。目次はどちらにもある。音楽学習マップはG社にしかない。

小根森委員 音楽年表は各社あるのか。

選定委員 2社ともある。巻末にはどちらもあるが、G社は、西洋音楽の鑑賞ページの下段に年表を掲載している。この意味では、F社に比べ分かりやすい。

松村教育長 日本と西洋とで分けて記載してあるという点では、つくりは同じである。

沖田委員 年表の部分においてはG社がよい。

藤原委員 そうですね。

小根森委員 君が代は全ての教科書に入っているのか。

松村教育長 全ての教科書に入っている。載せないといけないことになっている。

土井委員 「さざれ」の後は、息を切らない。

松村教育長 「さざれいしの」は続けて歌わなければならない。正しく歌わせなければならない。指導が大切である。

小根森委員 「夏の思い出」を比べた時、F社は写真・歌詞でイメージを持たせて楽譜となっており、G社は楽譜となっている。写真があるとイメージできる。

選定委員 調査員は、楽譜から入るのがよいということであった。

沖田委員 写真から入るとそれによってイメージができてしまうが、それはどうなのか。石楠花色にしても、人によっていろんなイメージが湧くだろう。写真が与えるイメージの域から出られなくなつてはよくない。

松村教育長 音楽学習マップを使つての見通しのもたせ方や歌唱教材のイメージのもたせ方などがあつたが、音楽（一般）は、G社でよろしいか。

委員一同 一承認一

#### 音楽（器楽）

選定委員長 一答申説明一

沖田委員 二重奏より、三重奏・四重奏に対応した曲が多い方がいいというのはどういうことか。

選定委員 二重奏であると、リコーダーが主となってきて、ソプラノとアルトといった演奏になる。しかし、三重奏になると、ソプラノ・アルトリコーダーにプラスしてピアノが入ってくるなど、多彩なアンサンブルができるということである。

沖田委員 指導要領には三重奏・四重奏まで示しているのか。

教育委員会事務局付課長 そこまでは書いてない。

小根森委員 楽器に対してふさわしい曲が選ばれているのか。例えば、ギターの曲だとそれに合った曲が選ばれている。G社は、そうでない曲も選ばれている。子どもたちがよく知っている曲を選んでいる。

選定委員長 先ほどもあつたが、三重奏以上の曲が多いということは多彩なアンサンブルに対応しているということである。打楽器（パーカッション）は、G社だけの扱いである。基本的な奏法から発展的な奏法まで掲載されている。

教育委員会事務局付課長 アンサンブルについては、学習指導要領には主体的に選ぶように書かれてい

る。和楽器については、3 学年を通じて一種類以上の楽器を選ぶようになっている。リコーダーが、器楽演奏の事例として示されている。

沖田委員 ギターとパーカッションは扱わなくてもよいのか。

松村教育長 中学校にはギターが置いてあるのか。

教育委員会事務局付課長 置いてある。扱わなくてもよいとは書いてない。

小根森委員 パーカッションは置いてあるのか。

選定委員長 吹奏楽を行っている中学校はある。

小根森委員 4つの楽器を用いて演奏するなどの活動は大切だ。いいことである。

沖田委員 和楽器でいうと、箏が多くの学校で用いられているのか。

選定委員長 講師を招いたりして学習している。

松村教育長 水道管を用いた手作りの尺八を使用する時もある。

松村教育長 音楽（器楽）は、G社でよろしいか。

委員一同 ー承認ー

## 英語

選定委員 ー答申説明ー

沖田委員 文法のまとめは、それぞれどのようになされているか。

選定委員 H社では、例えば、現在・過去・未来を比べながらまとめている。

沖田委員 H社は、色使いがいシンプル。2色で主語と動詞をわかりやすく示している。

選定委員 C社は、未来形と他の助動詞もまとめて示している。その他の教科書ではwillとbe going to をまとめて示している。

松村教育長 Can Doでの特徴はないか。

選定委員 単元ごとにCan Do (学習到達度目標)を設定する、あるいは学年ごとに設定している教科書がある。C社は全学年の巻末に付録として、卒業までに行えるようになることをリストにしてあり、チェック欄が設けてある。

小根森委員 完了形はどのように扱われているのか。

選定委員 たとえば、C社は、Basic Dialogで、実生活の会話場面を用いて文構造を示している。完了形は特に過去形との違いが分かりにくい。その後、聞く、話す、ペアワーク、読む、書く、と学習の流れが一貫している。

小根森委員 1年生入門期はどうなっているか。

選定委員 どの教科書も、あいさつを取り上げている。E社とD社には文字が全く使われていない。



土井委員 中学校で急に書くことの指導が入り、英語嫌いになると聞いたが。

選定委員 中学校では聞く・話すことにまず重点を置き、3年間で4技能をバランスよく指導することとされている。

小根森委員 アルファベットの扱いはどうなっているか。

選定委員 音と文字が結び付きやすいように、どの教科書も絵と単語を提示している。

小根森委員 発音記号は教えないのか。

選定委員 学習指導要領では、音声指導の補助として利用することを念頭にする。発音記号は自学自習へつなぐために有効であるが、発音記号そのものの詳細な指導に偏りすぎで過度の負担にならないように配慮する必要がある。

小根森委員 英字新聞は取り扱わないのか。時事もあり、面白いと思う。

沖田委員 トピックスとして扱うとよいのではないか。

選定委員 関連記事を示したりはすることはある。

沖田委員 3学年の終了の長文にマララや錦織圭を取り上げているのは、生徒にとってもインパクトがあつてよいと思う。

小根森委員 C社は全体的に学習しやすいと思う。

松村教育長 英語は、C社でよろしいか。

委員一同 ー承認ー

教育委員会事務局付課長 採択の確認をする。

国語 光村図書，書写 学校図書，社会（地理的分野）東京書籍，社会（歴史的分野）東京書籍，社会（公民的分野）東京書籍，地図 帝国書院，数学 東京書籍，理科 啓林館，音楽（一般）教育芸術社，音楽（器楽）教育芸術社，美術 開隆堂出版，保健体育 大日本，技術・家庭（家庭分野）東京書籍，技術・家庭（家庭分野）東京書籍，英語 開隆堂出版

選定委員長 平成28年度使用三次市教科用図書については、教科書を効果的に用い、生徒に基礎・基本の定着を図るとともに、活用する力についてもしっかりと付けていきたいと考える。三次市で選んだ教科書で学び、三次市を支えていく人材である夢人を育てていきたいと考える。本日は、ありがとうございます。

松村教育長 これをもって本日の会議を終了する。